

広臨技ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

 (ケイタイサイトへ <http://mw.hiroringi.or.jp/entrylist/>)

日韓交流会談 開催される

第59回日本医学検査学会の期間中である平成22年5月22日(土)和歌山県技師会の協力もあり、神戸国際展示場2号館1階応接室に於いてPM2:00~3:30の間、日韓交流会談が開催されました。韓国仁川広域市臨床病理士会側から、金成萬 会長、李聖衍 副会長、黄成俊 財務理事3名が、広臨技側からは、谷口日臨技理事、板羽 会長、水野・足免・丹下 副会長、田中 事務局長の6名が出席し、通訳をお願いした洪寿万氏(Sysmex)を加えて友好的に会談が行われました。

会談に先立ち、谷口日臨技理事、金 会長、板羽 会長の挨拶があり、お互い片言の日本語ならびに韓国語での自己紹介があり、和やかな雰囲気のもとではじまりました。会談内容としては、文化・学術交流事業に関する費用や期間などの事項を数点確認して、医学検査及び文化の交流に関する「覚え書」案の内容を承認いたしました。

次に締結式(調印)については、7月2日(金) songdo CONVENSIA (韓国 仁川)で開催される大韓臨床病理士会全国総合学術大会(KAMT学会)に於いて、学術大会公式行事として行われる予定となり、広臨技側が7月1日から2泊3日の予定で訪韓することが決まりました。

今後の交流の在り方についても検討され、1年毎に交互に文化交流も含んだ形で学術訪問をすることや、相互対等接待についても華美にならないように留意することなどを双方確認し合い、了承されました。また、未協議事項については、双方が別途協議して行くことで一致しました。

最後に、今年9月20日に開催予定である広臨技創立60周年・法人化20周年記念式典、祝賀会に仁川広域市臨床病理士会より2名を広島に招待する旨を伝え、7月の締結式での再会と、今回の会談がきっかけとなり末長い文化・学術交流へ導かれることを約束しました。これから始まる交流が、一人でも多くの会員が関与して両会にとって実り大きいものに成るようにして行きたいと思っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

広島県臨床検査技師会

板羽 秀之 会長


 韓国仁川広域市
 臨床病理士会

金 成萬 会長

創立60周年・法人化20周年記念事業を開催

2010年9月20日（月／祝日）

今年、(社)広島県臨床検査技師会は、昭和25年の発足後 創立60周年を迎えます。また、平成4年に法人化を取得してから20周年の記念すべき年となりました。

歴代会長をはじめ、多くの役職員や関係者の方々のご努力に感謝し、本会が今後ますます発展、飛躍をするための道標として本事業を企画しました。

記

- | | | |
|----|--|-----------------|
| 期日 | 平成22年9月20日（月／祝日） | |
| 内容 | 1. 記念講演（一般公開講座） | 14:00～ |
| | テーマ：「子宮がん」 | |
| | 講師：上坊敏子 - 子宮頸がん予防の会 代表世話人
（相模野病院婦人科腫瘍センター長） | |
| | 佐々木 昌弘（広島県健康福祉局 局長）
川西 なみき（三原医師会病院） | |
| | 2. 記念式典 | 16:15～ |
| | 3. 祝賀会 | 18:00～20:00 |
| 場所 | 1. 記念講演・式典 | 広島国際会議場 |
| | 2. 祝賀会 | ANAクラウンプラザホテル広島 |

記念式典には広島県知事、広島市長、医師会長、日臨技会長、仁川広域市病理士会（韓国）ほか県内外から関係諸団体のご来賓の方々をお迎えする予定です。

会員の皆様は、万象繰り合わせの上多数ご出席されますようにご案内いたします。

社団法人広島県臨床検査技師会
会長 板羽 秀之
創立60周年・法人化20周年記念事業実行委員会
委員長 足免 弘章

各施設の技師長・責任者 殿

(社) 広島県臨床検査技師会
会長 板羽秀之

「臨床検査データ標準化事業」への参加について(募集)

平素より当会事業活動に協力いただきお礼申し上げます。

現在、日本では国民の臨床検査データは、学校・職場での健診や人間ドック、病気治療のための検査で膨大な数が蓄積されています。

しかし、そのデータは検査を行った施設で使用している分析機器や試薬、標準物質の違いにより一元化されておらず、「いつ、どこの医療機関で検査を受けても同じ結果が出る」ということはなく、場合によっては複数の医療機関を受診することとなり、検査を受ける方に負担がかかっていました。

このため、(社)日本臨床衛生検査技師会はこの問題を解決すべく、関連団体と共同で測定法の標準化、標準物質の整備、内部精度管理の啓蒙と外部精度管理調査の実施など地道な努力を続けてきました。また、「臨床検査データ共有化部会」を設置し、「臨床検査データ共有化ガイドライン」を策定し、「医学検査」第55巻11号で公開しました。標記事業は、平成19年より各都道府県の技師会に「臨床検査データ標準化委員会(委員長・県立広島病院・新田和雄)」を設置し、全国展開で活動を開始しております。

具体的には「参加施設」としてご参加頂き、内部精度管理成績のご提供と、広島県臨床検査技師会の臨床検査データ標準化委員会の用意した、プール血清や管理物質を9月(予定)に1週間連続測定し報告して頂きます。平成21年度の報告会は、7月17日(土曜日)に予定しております。

TG,HDL-C,LDL-C,TC,GLU,CRE,UN,UA,AST,ALT,GGT,CK,ALP,LD,AMY,ChE,Na,K,Cl,
Ca,ALB,TP,TBIL,DBIL,IP,Fe,CRP,HbA1c,CBC を測定項目と計画しております。

(社) 広島県臨床検査技師会では、平成22年度「参加施設」として、昨年の48施設を上回る施設数を目標にしております。また、平成22年度から(社)日本臨床衛生検査技師会による検査室精度保証認証制度が始まります。認証基準の要求事項に、①日臨技主催の外部精度管理調査成績②検査データの標準化の実践③人的資源があり、今回の「参加施設」への参加は②に相当します。趣旨にご賛同頂き参加くださるようお願い申し上げます。

記

申込期限：平成22年7月20日(火) 申込方法：メールにてお申し込み下さい

(1) 新田和雄 宛 : nitta888@ms13.megaegg.ne.jp

(2) 内容：①施設名 ②代表者名(あるいは、担当者名) ③住所・所属

④電話番号 ⑤FAX番号 ⑥メールアドレス

問合せ先：県立広島病院 臨床研究検査科 新田和雄(臨床検査標準化委員会・委員長)

電話：082-254-1818 (PHS 2882)

糖尿病の新しい診断基準について

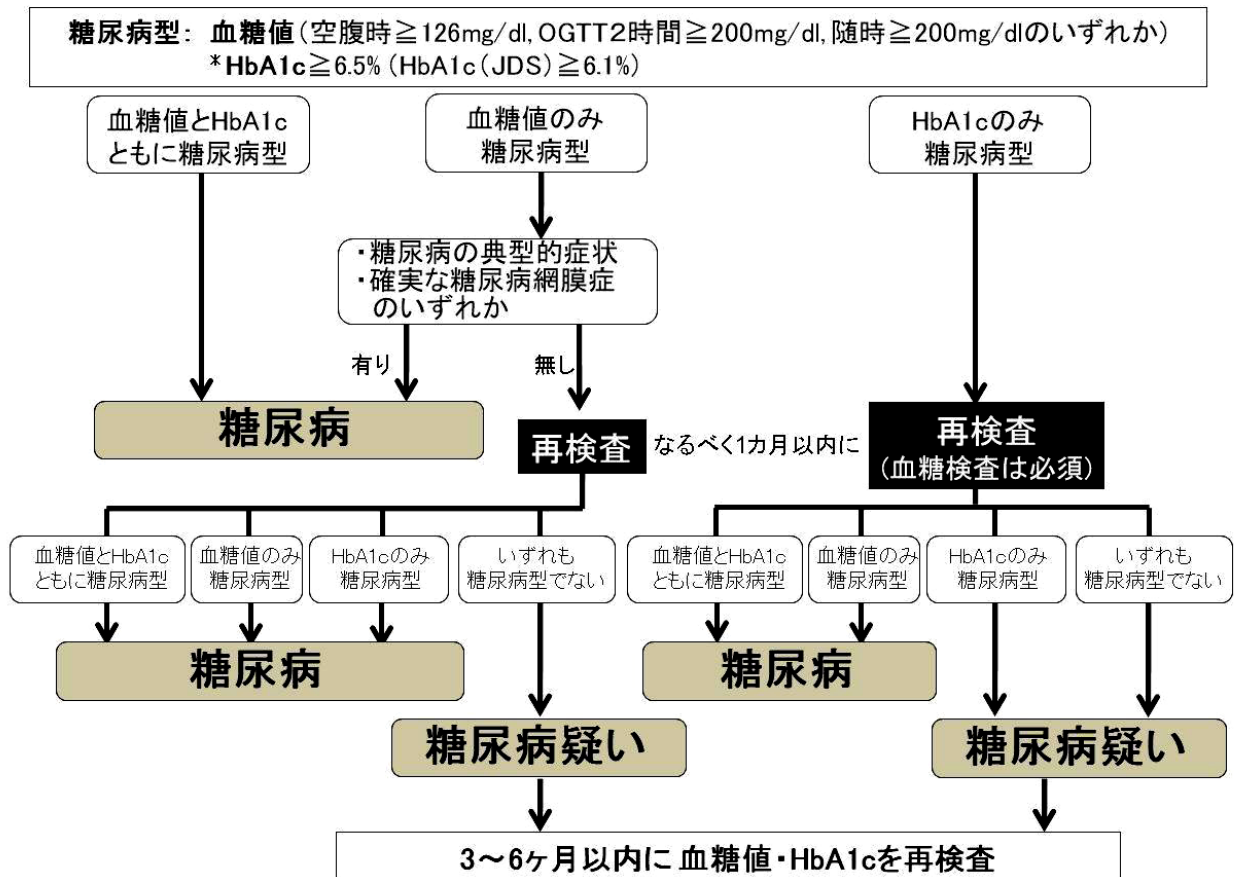
糖尿病の新しい診断基準が、5月27日～29日に岡山で開催された「第53回日本糖尿病学会年次学術集会」で発表されました。今回の診断基準の改訂は、前回の改訂から11年ぶりとなり、7月1日から施行されます。

今回の改訂では、①早朝空腹時血糖値 126mg/dL以上、②75g糖負荷試験(OGTT)で2時間値 200mg/dL以上、③随時血糖値 200mg/dL以上に「④HbA1c値」が加えられ、血糖値とHbA1cの両方が糖尿病型であれば、1回の検査でも糖尿病と診断できるようになります。これにより糖尿病の早期発見・治療の促進につながると期待されています。ただし、新診断基準にHbA1c値が加わっても、糖尿病の診断は血糖値とHbA1cの両方を評価するよう定められており、初回検査と別の日に行った再検査でHbA1cのみを満たすだけでは糖尿病と診断できません。初回検査でHbA1cが高く糖尿病型と判定し、再検査でもHbA1cが高く糖尿病型と判定しても、血糖値が糖尿病型でなければ「糖尿病疑い」とどまり、「3～6ヵ月以内の再検査」が必要と判定します。また、初回検査で「血糖値のみ糖尿病型」の場合は、糖尿病の典型的な症状や確実な糖尿病網膜症のいずれかが認められる場合は糖尿病と診断できます。

なお、HbA1c値については、国内の測定法(JDS値)を、欧米を中心に使われている測定法(NGSP値)に補正し表記する方針を打ち出し、将来的には、JDS値に0.4%を加えた値「NGSP相当値」に変更するとの見解が発表されました。変更は、今後糖尿病学会から告示される予定です。

新しい糖尿病の臨床診断フローチャート

(2010年7月1日より施行)



* HbA1cはJDS値に0.4%を加えた値で表記する。

日本糖尿病学会 (<http://www.jds.or.jp/>) 「糖尿病の分類と診断基準に関する委員会報告」より抜粋

平成 22 年度第 1 回理事会・第 2 回常務理事会報告・討議内容議事録

開催日：平成 22 年 5 月 7 日（金） 18：30～21：00

場 所：広臨技事務所

参加者：板羽、水野、足免、丹下、田中、藤上、竹本、小原、笹谷、米田、河岡、荒瀬、播野、長岡、森本、平賀、岩増、有谿、巻幡、新川、鈴木、若林、坂田

欠席：矢野、新田

書 記：（組織）岩増

< 報告事項 >

1. 板羽会長より報告

- ・今年、9 月 20 日（月）に広臨技の創立 60 周年・法人化 20 周年記念式典・祝賀会を盛大に行う。講演会、記念式典を広島国際会議場で、祝賀会を ANA クラウンホテルで開催する。理事は、勿論、会員への参加をお願いする。また、広報も行い多くの会員の参加に協力をお願いする。
- ・5 月 21 日に日臨技総会が開催される。そこでの要望事項があれば提案をお願いする。東広島地区の平賀理事より、厚生労働省より、チーム医療推進について指針が出されたが、臨床検査技師の名称が出ていない、政治連盟で 7 職種の合同で要望が出されるなど活動がみられるが、さらなる要求をして、チーム医療推進など多くの指針やガイドラインが出されれば、そこに臨床検査技師の名称が掲載されるよう要望してほしいと提案された。板羽会長より、日臨技総会で提案要求しますと了承された。

2. 中国会長会議の（4/24 開催）報告が水野副会長より行われた。

- ・日臨技理事会報告が主な内容であった。新会長になり、平成 22 年度、23 年度の執行部体制が確立した。
- ・「リンクス」について、会員全員が加入できるよう会費の中から一人 2,500 円くらいで検討している。
- ・公益事業の助成金について。エイズ、乳ガン予防、AED の取扱等の事業に助成金が出ていたが、今年度より AED への助成と健康展の助成も行われないことが決定した。エイズ、乳ガンについては継続する。
- ・日臨技理事会の公開について
会員は、月 1 回開催されている理事会を傍聴することが可能となった。
- ・法人化の動きについて
これまで、コンサルティング会社の指導を受けてきたが、費用等の課題があり新たなコンサルタントに変更していく予定。現在の動きとして公益法人に向かって進んでいる。
- ・公益法人化に向けての支部について
現在、中国地区、四国地区等となっているが、全国を各ブロック（支部）になる予定であるが、中国、四国地区は、中国四国ブロックにせず、中国と四国を分けてブロックとするように各県がそれぞれ要求として日臨技へ提出した。
- ・標準化事業について
データ集計用プログラム（ソフト）を更新する。A&T を使用することになった。
標準化委員も交代があり、今後の事業も新たな展開画が予想される。
基準値については、健康管理センター等のデータを用いての集計が検討されている。
- ・中四学会の演題募集について
演題の締め切りは 6 月 10 日まで、抄録の締め切りは、6 月 30 日までとなっている。
- ・標準化事業の日臨技会議について
5 月 15 日に、標準化委員会の新田委員長が参加する。

< 各部報告 >

1. 事務局 田中事務局長より報告

- ・3 月 26 日、事務所維持協力金の返金について案内を発送した。
- ・事務所のエアコンを更新し、設置が完了した。
- ・4 月 13 日、賛助会員継続の案内 69 件・問屋書類発送依頼 4 件送付した。

- ・4月26日、事務所維持協力金協力者のリストおよび申請書を発送した。
- ・4月中旬、役員・部門員に委嘱状を送付した。
- ・連休明けに県の補助金交付のための事業実績報告書を提出予定。
- ・5月7日、平成21年度の広臨技表彰者に案内を発送予定。
- ・日臨技パートナー「活動中の補償制度」に理事は、加入している。(活動中の事故対応)

2. 学術部 藤上部長より報告

- ・各部門委員について速報に掲載します。
- ・中国地区研修会、広臨技が担当で形態検査部門を行う。22年度は血液、23年度は一般、病理部門
- ・今年度も会誌への論文投稿をお願いします。

3. 経理部 小原部長より報告

- ・会費納入状況、4月30日現在、一般会員1,384人、新入会員19人、県会員1人合計1,404人となっている。

4. 渉外・法規部 竹本部長より報告

- ・表彰委員会報告
 - ・3月6日学会前に開催。
 - ・谷口 薫さんを新たに表彰することを決定した。
 - ・足免表彰委員長が答申書(別紙参照)を会長に提出中。
- ・6月5日のエイズ検査相談事業について
 - ・現在確定した原資がなく、日臨技公益事業に26万8千円を申請中したが、本年度から日臨技の公益事業に対する補助が無くなったため、広臨技のみの予算で行う予定。(エイズストップ助成金に30万円の申請は6月後半に可否の決定予定) そのため今回は規模を縮小し、ユノ川クリニックのみで検査を行う。ボランティアの募集(10名程度)は今からでは難しいので、個人的にお願いします。
 - ・また、同日に福山地区でもエイズの無料検査を行う予定。こちらはボランティア5名を予定。
- ・中国新聞社主催「肺と中高年の息切れ」健康フォーラムについて
 - ・5月9日12時から 検査予定者数は100人、検査機器4台を使用する。
 - ・中国新聞社との打合わせは調整中。
 - ・責任者を柳田さんに依頼しているが無理ならば、会長が出席する。
 - ・日当は技師会規定により、交通費なしで5,000円の予定。
 - ・部門長、関係者には会長から連絡済み
 - ・参加者

広島市立広島市民病院	3名	柳田さん、森山さん、他1名
県立広島病院	2名	藤野さん、難波さん
広島赤十字・原爆病院	2名	浅野さん、倉田さん
広島大学病院	2名	松原さん、岡野さん
- ・登記について
 - ・登記のための手続きを現在寺升司法書士にお願いして進行中。
 - ・各理事の方には住民票と役員(理事)就任承諾書の提出をお願いします。
- ・無料職業紹介事業の登録延長について
 - ・無料職業紹介事業を引き続き行うために、労働局に書類を提出する必要があり、添付資料として新理事の住民票が必要。これに関しても新理事に提出をお願いします。
- ・6月19日に乳ガン早期発見啓発「ピンクリボン de カーブ」の事業に協力要請がありました。協賛チケットとコラボTシャツの購入に協力をお願いします。
- ・「がん検診へ行こうよ」推進会議ができた。事務局は県の保健医療部にある。この会員になると、年間計画を出し、がん検診の普及啓発事業を行うと、講師料等の助成が受けられる。広臨技として入会する旨の説明があり、入会することとなった。

5. 組織調査部 笹谷部長より報告

- ・新入会員オリエンテーションについて
 - 現在、企画中であるが、東部地区は7月24日、東部以外は、8月21日に行う。

6. 広報部

- ・平成 22 年度第 1 回広報部会を 5 月 14 日（金）に開催予定。
（本年度の速報、会誌原稿等の掲載内容・各担当者の確認）

<各地区理事報告>

- 広島地区→レクリエーションで野球観戦を予定している。（9 月 4 日阪神戦）
- 呉地区→ 7 月 3 日（土）に七夕研修会を開催する。
- 東部地区→4 月 24 日に役員会を開いた。
- 東広島地区→今年度も「ガンについて」の研修をシリーズで行う。
- 北部地区→年間 4 回の研修会を予定。1 回は、一泊を予定している。

●生涯教育講座について（板羽会長）

東部地区より、会場について広島駅周辺もしくは、講座の回数を増やすこと、北部地区からビデオによる地区での受講は可能かと要望があったが、費用の増加、会場の大きさ、ビデオ撮影の許可等の課題もある。地区で生涯教育の内容も含めた企画も検討してほしい。

<討議事項>

1. 総会議案について

(1) 事業報告の承認

- ・事業報告について総会へ諮る。

(2) 決算報告の承認

- ・小原部長より、決算報告について説明があった。
- ・板羽会長より、生涯教育講座を除いて原則として研修会の自己負担を徴収しない、もしも徴収する場合は、常務理事会の承認を受けることを徹底してほしい。
- ・決算報告について総会へ諮る。

2. 事業・会計監査報告について

(1) 若林監事より報告

- ・会計帳簿、財産目録等について適正に処理されていた。
- ・今後の課題として 3 点の指摘があった。
 - ① 財産目録の中に、学術等で使用しているパソコンや OA 機器も含めて記載する
 - ② 部門の予算で、交通費の支出の徹底（近距離の支払い）
 - ③ 特別会計の事務所維持協力金について、次年度から名称を変更するなど、報告について検討の必要性があるのではないかと。

3. 広臨技創立 60 周年・法人化 20 周年記念事業について

- ・板羽会長より、事業予算を会費、協賛金等で運営するが、式典、講演会の予算について特別会計を取りくず事に了承をお願いする。（130 万円）これについて総会に諮る。また、国際交流も（韓国から招待者あり）この事業に含むことになる。尚、記念会誌は発行しない。足免副会長より、準備日程、開催概要について報告があった。また、事業について会員に広報して協力をお願いすると報告があった。

4. 広島県知事表彰推薦について

- ・板羽会長より、広臨技創立 60 周年記念式典にあたり、会員の知事表彰が行われる。（10 年に一度）これにあたり、当会に表彰規定が必要であると報告がある。
- ・竹本渉外法規部長より、広島県知事表彰規定案が提案された。推薦委員 6 名を選出して了承された。この規定を県に提案する。

5. 平成 21 年度各表彰者、表彰委員会の答申について

- ・竹本渉外法規部長より、表彰委員会から学術業績者表彰、学術奨励賞、功労者表彰、永年職務精励者表彰、特別賞について受賞該当者が会長に答申された旨報告があり、受賞者について承認された。尚、受賞者表彰者祝賀会は、6 月の総会後行われる。

6. 国際交流事業について

- ・丹下副会長より、韓国の仁川の臨床病理士会と学術交流事業を行う。神戸での全国学会で、交流に関する内容について協議し、韓国での学会で調印の運びとなる。9 月の記念式典に招待する。この交流は、学術交流を強く推進するものである。と報告があった。尚、詳細が決まれば速報で会員に伝達する。

7. 平成 22 年度広島県医学検査学会について
- ・板羽会長より、今年度は北部担当で開催したいと提案あり、北部地区理事を実行委員長として 3 月上旬を目途に開催することが了承された。
8. 事務所維持協力金の会員への返金について
- ・板羽会長より、各施設に協力金の返済について案内を出しているが、預かり証を紛失している会員もあり、この扱いをどうするか協議してほしいと提案された。まず、田中事務局長より、現状は、発行数、1,398 口、219 人返金している。退会者は、397 人でその内 157 人には返金している。と報告があった。
 - ・協議の末、再度、預かり証の法的な根拠、事務所維持協力金規定等を基に弁護士に確認して、最終決定することとした。

重要

《 広臨技 事務局からのお知らせ 1 》

現在、平成 10 年～平成 17 年度にかけて皆様にご協力をいただきました**事務所購入維持協力金**の返金作業を行っています。

当初、「預り証を紛失された方への返金には応じられません」とお知らせ致しましたが、**紛失された方へも返金することになりました**。また、退会時に返金の申請をされなかった方や預り証紛失により返金を断られた方にも可能な限り対応していきたいと考えております。ただし**返金は 10 月以降になる予定**ですのでご了承ください。手続き等詳細につきましては後日ご案内致します。

平成 22 年 7 月 行事予定表

3	土	平成 22 年度呉地区七夕研修会 教育講演「患者さんが納得する臨床 検査相談室」 一般演題	呉医療センター 地域医療 研修センター（第 1・2）	13：40～17：00
8	木	第 2 回生涯教育講座（広島地区） 「放射線治療」	広島市西区民文化センター 3 階 大会議室	18：30～20：00
9	金	常務理事会	広臨技事務所	18：30～20：30
10	土	血液研修会（鏡顕実習&講義） ～末梢血～	広島大学医学部 保健学科 10 階実習室	14：00～18：00
15	木	呉地区輸血懇話会	呉共済病院 南館 2 階 第 1 会議室	18：30～20：00
17	土	生物化学分析部門&広臨技臨床検査 標準化委員会合同研修会 「なぜ標準化できないの！測定法の 基礎から標準化を考えてみよう」 「平成 21 年度・臨床検査データ標準化 事業の報告と日臨技の動き、精度保 障に関する認証制度とは？」	ホテルチュールヒ東方 2001 レオポルトの間	13：30～17：30
22	木	第 2 回生涯教育講座（東部地区） 「放射線治療」	尾道市立市民病院	18：45～20：15
24	土	東部地区新人オリエンテーション研修会	福山市男女共同参画センター イコール福山	14：00～15：30
24	土	東部地区合同研修会 形態部門 広島県医師会精度管理報告会	福山市男女共同参画センター イコール福山	15：30～17：30

※ 平成 22 年 7 月の行事予定詳細は、広臨技行事予定表およびホームページでご確認下さい。

平成 22 年度 呉地区七夕研修会のお知らせ

初夏の候、皆様方には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
平成 22 年度の呉地区七夕研修会を下記の日程で開催いたします。
皆様 多数ご参加をお願いいたします。

記

日時：平成 22 年 7 月 3 日(土) 13:40～ 受付
場所：呉医療センター4F 地域医療研修センター (第 1・2)
呉市青山町 3-1 Tel : (0823)22-3111



【教育講演】 16:00～17:00

「患者さんが納得する臨床検査相談室」

講師 前 山口県立総合医療センター 技師長
現 山口県臨床検査技師会 参与
三輪 久美子 先生

【一般演題】 14:00～

1. 「腎動脈エコーにおける背部アプローチの有用性の検討」
安藤 弘紀 (呉共済病院)
2. 「体外式腹部超音波検査にて経験した虚血性大腸炎の 2 例」
小林 由季 (済生会広島病院)
3. 「%Mean Arterial Pressure と Upstroke Time の有用性について」
森山 祐一 (呉医療センター)
4. 「プロカルシトニン定量法の検討、および臨床への応用」
井村 仁美 (呉共済病院)
5. 「ケミルミ BNP の検討」
勝谷 由香 (呉市医師会臨床検査センター)
6. 「最終的にパラチフス A であった 1 症例」
横田 明枝 (中国労災病院)
7. 「当センターに導入した感染制御システムについて」
田寺 加代子 (呉医療センター)
8. 「尿沈渣鏡検後の Gram 染色」
河野 雄一 (済生会呉病院)
9. 「小児の巨赤芽球性貧血の一例」
山崎 絢子 (中国労災病院)
10. 「末梢血ギムザ染色の標準化について」－呉地区血液研修会活動報告－
木村 充 (中国労災病院)

【意見交換会】 18:00～20:00 クレイトンベイホテル 11 階 ヴェール・マラン

会 費 : 5,000 円
締め切り : 平成 22 年 7 月 1 日 (木)
申込み・問合せ先 : 済生会呉病院 有谿 俊一
TEL : 0823-21-1601 Mail : aritani@saiseikai-kure.jp

*研修会終了後 病院玄関から送迎バスが出ます。
当日申し込みはできませんのでご了承ください。

血液研修会のお知らせ

～講義と鏡検実習（鏡検実習参加自由）～

拝啓

会員の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回の研修会は、講義と鏡検実習の内容で、末梢血標本の鏡検実習を行います。ご多忙中とは存じますが、多数参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時：平成22年7月10日(土) 14:00～18:00
会場：広島大学医学部 保健学科 10階 実習室
テーマ：講義と鏡検実習 ～末梢血～
内容1 「末梢血液像から推測できる血液疾患」
山下 典子 技師 (広島赤十字・原爆病院)
内容2 実習「末梢血標本鏡検」
講師 領域委員

問合せ先：県立広島病院 臨床研究検査科 瀧上 浩美
TEL (082) 254-1818 内線 1326

平成22年度 一般領域研修会のお知らせ

拝啓

会員の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

一般領域では、尿検査と高血圧を中心に22年度2回目の研修会を下記の内容で開催します。お忙しいとは存じますが、お誘いあわせのうえ多数のご参加よろしくようお願い申し上げます。

敬具

記

日時：平成22年8月28日(土) 13:30～17:00 13時 受付開始
場所：広島鉄道病院 2階
内容
講演1 未定
飯島 壮悟 先生 アークレイマーケティング 学術センター
講演2 見落としではいけない尿検査のポイント
宿谷 賢一 先生 東京大学医学部附属病院
講演3 診断に苦慮した高血圧 検査になにを求めるか？
下澤 達雄 先生 東京大学医学部附属病院
後援 アークレイマーケティング 株式会社

生物化学分析部門&臨床検査標準化委員会合同研修会のお知らせ

拝啓

会員の皆様にはお元気でご活躍と思います。平成 22 年度、第 1 回生物化学分析部門（臨床化学、免疫血清）研修会を広臨技臨床検査標準化委員会と合同で開催いたします。

HbA1c、梅毒検査の基礎から最新情報までと平成 21 年度標準化事業の報告、日臨技の今年度の事業計画、更に認証制度についての報告です。多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時：平成 22 年 7 月 17 日（土） 13 時 30 分～17 時 30 分
会場：ホテル チューリッヒ東方 2001 3 階 レオポルトの間 Tel 082-262-5111

（第 1 部） 「なぜ標準化できないの！測定法の基礎から標準化を考えてみよう」

講演 1 「HbA1c 測定法（HPLC）の基礎と標準化の動向 (13:30～14:05)
東ソー（株）バイオサイエンス事業部 新藤 義之 先生

講演 2 「HbA1c 測定用汎用試薬及び周辺情報について」 (14:10～14:45)
積水メディカル（株）カスタマーサポートセンター 金田 幸枝 先生

講演 3 「梅毒検査の最近の話題－2008 年ガイドラインを中心に－」 (14:50～15:25)
積水メディカル（株）カスタマーサポートセンター 松本 美枝 先生

「休憩」 (15:25～15:45)

（第 2 部） 「平成 21 年度・臨床検査データ標準化事業の報告と 日臨技の動き、精度保障に関する認証制度とは？」

司会 広臨技会長 広島大学病院 板羽 秀之 技師

報告 1 「酵素項目を中心に報告」 (15:45～16:05)
広島大学病院 津川 和子 技師

報告 2 「タンパク質・電解質を中心に報告」 (16:10～16:30)
広島大学病院 森本 隆行 技師

報告 3 「脂質項目を中心に報告」 (16:35～16:55)
広島市民病院 兼丸 恵子 技師

報告 4 「日臨技・臨床検査データ標準化事業の全国代表者会議報告（東京）」 (17:00～17:30)
「平成 21 年度事業報告と平成 22 年度事業計画及び認証制度について」
広臨技臨床検査標準化委員会委員長 県立広島病院 新田 和雄 技師

問い合わせ：賀茂精神医療センター 検査科 (0823) 82-3000 (三好)
：県立広島病院 臨床研究検査科 (082) 254-1818 (新田)

東部地区研修会のお知らせ

～広島県医師会精度管理報告会(形態部門)～

拝啓

皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、東部地区形態部門では第37回広島県医師会精度管理の報告会を下記の内容で開催いたします。昨年、広島会場で開催された報告会ですが“是非、東部地区でもやりましょう！”という熱い意見が多く寄せられ、開催に至りました。

研修会終了後に懇親会も予定しておりますので、多数参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時：平成22年7月24日(土) 15:30～17:30
会場：福山市男女共同参画センター イコールふくやま (福山ロツツ 地下2階)
内容：平成21年 第37回広島県医師会精度管理 報告会 ～形態部門～
一般：井上 さおり 技師 (尾道市立市民病院)
血液：竹本 武志 技師 (三原赤十字病院)
病理：和田 栄津子 技師 (福山市医師会診断病理学センター)
細胞診：山田 貴之 技師 (公立みつぎ総合病院)

問い合わせ先：公立みつぎ総合病院 臨床検査室 山田貴之
TEL：(0848) 76-1111 (内線 1168)

重要

《 広臨技 事務局からのお知らせ 2 》

東部地区の「事務所購入および維持協力金」の返金を下記日程で開催される研修会の受付時及び終了後(30分)に行います。
申請をされている施設連絡責任者・自宅会員の方は受け取りをお願いします。

第一回目 (尾道・三原が近い)

第2回 生涯教育 放射線治療

日時：7月22日 木曜日 18時45分から

場所：尾道市立市民病院 新棟4階 大会議室

第二回目 (福山)

医師会精度管理サーベイ形態部門研修会

日時：7月24日(土) 15時～15時30分 17時30分～18時

場所：福山ロツツ 地下2階

男女共同参画センター イコール福山

★なお、当日の申請は受け付けておりません★

事務局

移植検査部門輸血検査研修会のご案内

拝啓

皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、広島県臨床検査技師会学術活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、輸血検査研修会を下記の要項で開催いたします。

今回は、輸血部の検査技師として日本とアメリカの両国でご活躍された経験をお持ちの坂本美佐先生にご講演いただきます。

「アメリカでの輸血検査とはいかなるものか!?」「日本との相違は!?」などをお話していただく予定です。

輸血医療をワールドワイドにお話いただける貴重な機会ですので、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

日 時：平成 22 年 8 月 7 日（土） 15:00～17:00
場 所：広島大学病院 臨床講義棟 1 階 第 5 講義室
テーマ：アメリカにおける輸血事情
講 師：坂本 美佐 先生

会場案内



■JR 広島駅から

- バス（所要時間：約 15 分）：広電バス 5 号線（大学病院行）終点下車
広島バス 26-1 号線（旭町行）大学病院入り口下車 徒歩

■紙屋町・八丁堀から

- バス（所要時間：約 15 分）：広島バス 23, 23-1 号線（横県・大学病院行）終点下車

問い合わせ先：県立広島病院 臨床研究検査科 藤井 明美 TEL (082) 254-1818

広臨技携帯サイト URL 変更のお知らせ

この度、広臨技携帯サイトの URL を変更しました。
新 URL は、<http://mw.hiroringi.or.jp/entrylist/> です。
技師会の研修会予定などが掲載してありますので、会員の皆様は是非 Bookmark されてご利用頂けたらと思います。



携帯用の情報提供として有意義な内容などがありましたら、是非 info@hiroringi.or.jp 及び 広臨技事務所までご意見、ご感想をお寄せ下さい。

随想録

『女子サッカー』

医療法人社団千手会 瀬尾医院
松本 恭子

地元の女子のサッカーチームに所属しています。息子がスポーツ少年団でサッカーをしていたこともあり、サンフレチェの試合をみに連れて行っているうちに、サッカーの面白さ（槇野選手のかっこよさ）に私の方がはまり、もともと体を動かすこと（特に走る）が大好きなのもあり、自分でもやってみたくなったのです。

何でも小学校の間は、少年団に所属しサッカーをしていた女の子たちが中学校へ上がるとサッカー一部へは男の子しか入部できず、サッカーを続けたくても地元ではできなくなるので、『小学校卒業後も地元でサッカーを続けられる場を』と、4年前につくられたチームだそうです。（今では中学校のサッカー部には女の子も入部できるようになりました。）

メンバーは、幼児、小学生、中学生から大人まで幅広く、全部で40人くらい、指導者も5人います。週に1回、小学校のグラウンドで1時間ばかり汗を流し、年に4～5回は、地元少年団と交流試合をしています。勝つことが目的ではないので、楽しくサッカーをしています。だから、普段の仕事ではほとんど座ったままで運動不足の私にとっては、よい運動不足解消、ストレス発散の場になっています。そうは言っても、40歳を過ぎた体にはハードで、練習の前と後では体重が1kg以上減っている事もありますが、練習の後のビールは一段とおいしく感じます。

昨年12月の初の遠征試合『サンフレカップ』では、ビッグアーチ横の第1球技場で3試合し、初勝利をあげることができ、勝つ事の喜びも味わう事ができました。それも女子大生のチームに勝ったので『女子大生に勝った!!!』と、とっても盛り上がりました。

地元、東城町にも芝（草原のような）のグラウンドがあります。女子のチームに限らず、交流試合をしてもいいよという方、いらっしゃいましたら、ご一報くださればうれしく思います。

将来、県北の女子のチームから世界を相手に活躍するような『なでしこジャパン』の選手が誕生する事を楽しみにしている私です。

目指せ！『なでしこジャパン』



県北から世界へ



広臨技求人のご案内 (2010. 6. 7 現在)

問合せ先 (社) 広島県臨床検査技師会 事務所 FAX (082)502-6031
技師会ホームページから求人登録をすると求人の詳細をご案内します。

受付No	受付日	施設形態	所在地区	雇用形態	採用人数	募集業務内容
169	平成22年2月3日	診療所	呉市	③パート	5名	内科診療検査業務
170	平成22年3月3日	病院	東広島市	②臨時職員	1名	
172	平成22年3月12日	病院	広島市中区	③パート	1名	エコー検査、生理検査
173	平成22年4月2日	検査センター	福山市	③パート	1名	検体検査(血液、一般)
174	平成22年5月28日	病院	広島市中区	③パート	1名	臨床検査業務